

2020  
春季生活闘争

新型コロナウイルス感染拡大危機の今こそ「先につないでいく」ことが重要！  
県内すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」をめざして  
「月例賃金の引き上げと人への投資」を徹底して追求していこう！

## 連合鳥取2020春季生活闘争「中間まとめ」を発表

連合鳥取2020春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 【2020.4.20現在集計】

### 1. 賃金要求提出状況

※昨年同時期(2019.4.22)と比較

登録組合数	2020春闘：81組合		2019春闘：88組合				
	2020春闘 (2020.4.20)		2019春闘 (2019.4.22)				
	【賃金関係】 調査対象：112組合		【賃金関係】 調査対象：113組合				
	平均方式	個別方式	合計	平均方式	個別方式	合計	
◆提出した	組合数	61	9	70	68	9	77
	組合員	9,771	1,516	11,287	10,639	1,545	12,184

◆提出せず 体系維持分 を確認	2020春闘	2019春闘
組合数	4	7
組合員	515	207
◆未提出	2020春闘	2019春闘
組合数	4	3
組合員	563	909

◆人勧準備	2020春闘	2019春闘
組合数	3	1
組合員	136	142
◆回答・妥結	2020春闘	2019春闘
組合数	46	52
組合員	8,436	9,034

### 2. 要求状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2020春闘 (2020.4.20)						2019春闘 (2019.4.22)						昨年対比		
	組合数	組合員数	体系維持分額		賃金改善分額		組合数	組合員数	体系維持分額		賃金改善分額		額	率	
			額	率	額	率			額	率					
従業員	計	47	6,928	3,673	4,526	8,116	3.37	57	7,961	3,911	4,344	8,181	3.56	▲65	▲0.19
加重平均	300人以上	15	4,807	3,944	5,002	9,077	3.78	16	5,072	4,279	4,270	8,853	3.86	224	▲0.08
	299~100人	13	1,599	2,849	3,472	5,454	2.24	19	2,261	3,095	4,828	6,767	2.96	▲1,313	▲0.72
	99人以下	19	522	4,391	3,910	7,832	3.04	22	628	5,334	2,776	8,200	3.22	▲368	▲0.18

### 3. 回答妥結状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2020春闘 (2020.4.20)				2019春闘 (2019.4.22)				昨年対比		
	組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		額	率	
			額	率			額	率			
従業員	計	27	4,477	4,176	1.89	33	5,042	4,774	2.13	▲598	▲0.24
加重平均	300人以上	12	3,578	4,559	1.99	11	3,477	5,476	2.34	▲917	▲0.35
	299~100人	7	751	2,573	1.52	11	1,345	3,111	1.49	▲538	0.03
	99人以下	8	148	3,308	1.47	11	220	3,841	1.96	▲533	▲0.49

新型コロナウイルスの感染拡大は、命と健康のみならず雇用と生活や、経済そのものの失速という広範な影響をもたらしている。見えない感染リスクと闘いながら、医療体制の確保、インフラ基盤・生活必需品の確保等、経済・社会維持のために、極めて高い繁忙感のなかで務めを果たしている仲間感謝し、支えなければならぬ。すべての働く者による、お互いの連帯を高めることなしに、この難局を乗り越えていくことはできない。

2020春季生活闘争は、20年以上続くデフレ状況の中で「不安定な雇用・あいまいな雇用」の増大と、労働組合がなく賃金制度のない中小企業で働く労働者の格差拡大が極めて重たい課題である。

こういふ時だからこそ、コロナ対策一色の動きに埋没することなく後続の交渉に、そして先につながるなければならぬ。

連合鳥取は、2020春季生活闘争の中間回答集計について、4月20日(月)、県政記者クラブ(鳥取県庁内)において報道機関に発表しました。新型コロナウイルス感染拡大対策のため、例年3月に開催する「春季生活闘争勝利総決起集会」も、労働者の祭典である「メーデー大会」も中止しましたが、連合鳥取は、こういふ時だからこそ、県内すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」をめざして取り組んでいきます。

■本川会長あいさつ(要旨)  
新型コロナウイルスの感染拡大は、命と健康のみならず雇用と生活や、経済そのものの失速という広範な影響をもたらしている。見えない感染リスクと闘いながら、医療体制の確保、インフラ基盤・生活必需品の確保等、経済・社会維持のために、極めて高い繁忙感のなかで務めを果たしている仲間感謝し、支えなければならぬ。すべての働く者による、お互いの連帯を高めることなしに、この難局を乗り越えていくことはできない。

- 非正規労働者の処遇改善実績
- ・月額賃金・時給引き上げ
  - ・休日1日増、非常勤→常勤
  - ・初任給引き上げ
  - ・人間ドック受診料増額、保育料支援金増額
  - ・深夜手当増額
  - ・一時金支給率アップ
- 企業内最低賃金の取り組み
- ・水準引き上げ、協定化
- 働き方改革の推進
- ・時間外労働の削減
  - ・年次有給休暇の所得促進、付与日数増
  - ・所定内労働時間の短縮
  - ・時間外割増率の引き上げ
  - ・フレックス勤務制度の導入
  - ・勤務間インターバル制度の導入

■65歳までの雇用延長制度導入



左から本川会長、田中事務局長

コロナ危機 力を合せて乗り越えよう!

# ■特集 メーデー100年 組合員とご家族、OB・OG、職場の仲間 みんなで次代につなげよう

## メーデーの起源

5月1日のメーデー(May Day)は、古くからヨーロッパでは「夏の訪れを祝う日」とされ祝日とされてきました。

一方で、低賃金と長時間労働に苦しめられていた米国の労働者がゼネラルストライキ(全国的な規模で行われる労働争議)を行ったのが1886年の5月1日で、彼らは翌年以降も5月1日にゼネストを実施しました。この動きが世界の労働組合に広まり、1890年5月1日に「第1回国際メーデー」が多くの国で開催されました。これが今に続く「労働者の祭典」としてのメーデーの起源となったのです。

日本では1920年5月2日に「第1回メーデー」が東京・上野公園で開かれました。第二次世界大戦中は政府により開催が禁止されましたが、戦後、労働組合の活動再開とともに再び開かれるようになり、日本の労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしてきました。現在のメーデーは、米国の労働者が労働条件の改善を訴えたその想いを受け継ぎつつ、働く仲間とお互いをねぎらい、たたえ合いながら、家族や地域のみなさんにも楽しんでもらえる一大イベントとして世界中で愛されています。

## 連合鳥取 メーデーの歴史 1990年2月9日 連合鳥取結成

### ■ 第61回鳥取県メーデー大会を県内3地域4会場で開催(1990年5月1日) ■

○連合鳥取・県総評センター・県友愛会議で実行委員会を結成⇒1996年より「連合鳥取のみ」で大会を運営

○1998年大会までは「境港市」を含む4会場で開催



第61回中央大会(1990年)



第63回中央大会(1992年)



第65回中央大会(1994年)

### ■ 第70回鳥取県メーデー大会(1999年5月1日) “第70回”と“連合鳥取10周年”を記念して県内1カ所(鳥取県民体育館)を会場として、全県より7000人が集結してメーデー大会を開催

- ①MALTA&フェリーシア、鳥取城北高校・鳥取女子高校とのジョイントコンサート
- ②米子方面からの臨時列車(メーデー列車)の運行 など



メーデー列車  
ヘッドマーク

### ■ 「中央大会」を県内3地域を持ち回りで開催に変更

「第71回大会(2000年)」より



フラカード  
コンクールを  
毎年実施



各地協で  
イベントを工夫

### ■ 「連合鳥取の政策」「連合政策」PR活動

- ・「中海・本庄工区全面干拓に反対する特別決議」(1996年・1997年)
- ・トブ太(自立支援)カンパ(2009年派遣切り)
- ・安倍政権への抗議はがき(2015年/西部)(写真左)
- ・「クラシノソコアゲ第2弾」アンケート(2017年)など(写真右)



### ■ 「メーデー川柳」を募集

「第79回大会(2008年)」からスローガンをテーマに募集…毎年多くの応募あり

### ■ 被災地支援・復興活動

東日本大震災(2011年)、熊本地震・鳥取県中部地震(2016年)などの災害被災地の支援と復興に向け、メーデー大会の中で復興に向けた支援カンパや物販を実施

### ■ 社会貢献活動

「メーデー献血」「使用済み割箸・エコキャップ回収」「フードドライブ」を実施



ご協力ありがとうございます!

## おさしほ 第91回メーデー中央大会(東京)

4月29日(水・祝) 10:30より  
メッセージ配信中

### 1. パソコン

連合    
連合ホームページ  
「第91回メーデー大会」バナーから

### 2. スマホ・タブレット

QRコードから  
QRコードはスマホ用になります



参加者全員で  
黙とう(2011年)



(2016年)

# 「持続可能な水道の実現」に向け 鳥取県との連携を確認

連合鳥取は、「改正水道法」が2019年10月1日施行されたことに伴い、3月31日(火)、鳥取県に対し「持続可能な水道の実現」に向けた要請を実施しました。

本川博孝会長と田中文字人執行委員(全水道)から野川聡副知事に要請書を手交した後、意見を交わし、連合鳥取と鳥取県の連携を確認しました。



左から野川副知事、本川会長、田中執行委員

### ■連合鳥取からの要請・意見■

本川会長／

水道法の改正や市町村人口の減少による広域的な対応が議論される中に、現場の声を反映させていただきたい。

田中穂事務局長／

水が“命を守る”との観点で、設備の老朽化対策や法改正によるコンセッション方式※の問題点等、水道事業を持続可能とするためにも県の役割が重要である。

田中文字人執行委員／〈現場の声として〉

近年の災害で現場に給水支援を実施し“水の大切さ”を強く認識する一方、職員減少による人的量の不足を懸念している。

### ■鳥取県からの回答・説明■

野川副知事／

SDGsに包含された“安全な水”の要請と受け止めている。広域となれば県の役割が重要であり、法施行の5ヵ月前から市町村と連携し協議を進めている。コンセッション方式については県内での動きはないが、海外の先行事例を検証し慎重に対応していきたい。

水環境保全課長／

配水管耐用年数40年を越えているのは県内で17%。市町村で一律とはなっていない。

くらしの安心局長／

市町村との協議プロセスの“見える化”でオープンにしていく。

※concessionは、「国が与える免許」という意味がある。「コンセッション方式」とは、政府が民間に免許を与えることにより事業を行えるようにする方式のこと。改正水道法の場合の「コンセッション方式」とは、水道施設を市町村が所有したまま、民間事業者が施設を運営することが可能となるということ。この方式により事業経営の効率化を目的としているが、海外では民営化の後に再び公営に戻る事例が見られる。

## 世界の子どもたちにワクチンを届けよう！ —エコキャップ回収へのご協力に感謝します—

連合鳥取では、「ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちにワクチンを届けよう!」と、2009年より活動しています。

労働組合、労働福祉団体や地域協議会を通じて回収したキャップは、3月時点で累計で2,467,036個となり、2,868人の子どもたちにワクチンを届けることができました。



労協協力のもと、いつもキャップをきれいにし事務所に届けていただくジャパンディスプレイのみなさん



### 国公総連鳥取県協議会は、 全農林労働組合鳥取分会と全財務労働組合鳥取支部で構成する協議会です。

- 両単組とも、全国的には国の行政機関や独立行政法人、政府関係企業(特殊法人)などに勤務する国家公務員を含む職員で構成している国公関連労働組合連合会(略称:国公連合)に属しています。
- いずれも国家公務員及び関係法人であるため、制度的な労働条件が多く、特に民間のみなさまのご理解が必要です。ともに頑張りましょう。

#### ◇全農林労働組合鳥取分会

- ・中国四国農政局鳥取県拠点
- ・動物検疫所神戸支所米子空港出張所
- ・神戸植物防疫所広島支所境港出張所
- ・水産庁境港漁業調整事務所
- ・水産庁漁業取締船白嶺丸
- ・独立行政法人家畜改良センター鳥取牧場

目的 国家公務員及びその関係法人で組合員の労働条件の維持・改善と、社会的・経済的地位の向上を図る。

#### ◇全財務労働組合鳥取支部

- ・中国財務局鳥取財務事務所

目的 組合員の団結と相互扶助の組織により労働条件を維持改善し、その経済的社会的地位の向上を図る。



# 湯原 俊二

— りょくひの想い —

## 生活困窮者や零細事業者には 大胆かつ早急に支援すべき



安倍政権は、野党から再三の要請があったにもかかわらず、経済活動を優先するあまり緊急事態宣言の発出が遅れました。今や感染が拡大し経済や国民の暮らしは大変厳しい状況です。

生活困窮者や自粛に伴う零細事業者への支援も、予算総額だけは大きく見せかけていますが、実態はドイツをはじめ諸外国に比べ対応が遅く、内容も貧弱です。これは日頃から自民党政権が、税金を無駄使いし放漫財政で財政危機にしており、今回のような“いざ”という時に国民を早急に手厚く支援することができないのです。私は、今回は財政のことは後回しにして生活困窮者や零細事業者には大胆かつ早急に支援すべきと考えます。スピード感を持ち、事務手続きも簡略化し、幅広に支援すべきです。

鳥取県内でも感染者が出ました。先月号でも申し上げましたが、感染者を誹謗中傷、偏見差別すべきではありません。様々な困難な状況に対しても、動揺することを最小限に抑え、社会不安に陥ることなく、それぞれが冷静に誠実に乗り越えていきましょう。



西部地協の「2020春闘街宣」に参加  
(2020.4.6 JR米子駅前にて)

### “ザ・議員”

## 秋山 智博 鳥取市議会議員

2020年2月議会では、①地域包括ケアの推進について、②ひきこもり支援についての2点について質問しました。そのうち、②について報告します。

【質問】 ひきこもりは喫緊の社会問題です(2018年7月の県調査→県685人で、鳥取市204人)。

当事者や家族の葛藤、不安、苦しみから社会参加につなげられないか問います。

【答弁】 青少年だけでなく、40歳～50歳代の中高年者も増加しており重要課題です。早期に相談や支援につなげるため、昨年10月に専任相談員を配置、本年4月には居場所も設置して支援を強化します。

—私からの提起です!—

◎放課後児童クラブの支援員(非正規労働者)の賃金アップを!

鳥取市では、処遇改善やキャリアアップ事業(国・県・市町村)が各1/3負担)を活用し、2017～2019年度で、支援員180人/390人の平均賃金が月額約1.8万円～5万円アップしました。

他の市町村でも取り組めないでしょうか。



議会で発言

## 津川 俊仁 北栄町議会議員

コロナウイルスが暴れまわっている時期の原稿です。1日も早い終息を祈念します。

今回は、可燃用ごみ袋値上げ阻止について報告します。

北栄町では45ℓの可燃用ごみ袋(大)を、消費税増税に合わせて1枚30円から40円に値上げして、排出量を減らしたいとの議案が提案されましたが、①値上げではごみの排出量削減にはならない、②子育て世代の負担を増やすべきでない、③隣の市・町との価格差(40円と28円の差が発生)が財政効果の400万円に対してイメージが悪すぎる、などの理由により反対しました。

結果は賛成者0人で否決され、今も30円のままです。しかし、ごみの減量には一層強固に取り組むことはもちろんです。



ゴミ出しは私の役割です

現在、得体の知れない、対処法もない新型コロナウイルスに国民全員が不安を感じる毎日が続いている▼私はコロナに関わる業務に関わっている。この戦いはいつまで続くのか。こんなにもみんなが必死に考えて対策等を実施してきた経験は今までになかった。感謝されることもあれば、辛いことも沢山あった。これからは今まで経験した状況よりもさらに深刻になるのかもしれない▼私だけ大変な想いをしているのではない。みんなそれぞれの不安の中で仕事し、医療従事者の方は必死で業務され、生活が困難な方もおられる中で国民一人ひとりがそれぞれ一生懸命戦っている。自身が置かれていく状況を認識し、今、最善を尽くすことを問われていると感じている▼みんなが胸に手を当てて、自分の行動を考えて最善を尽くすことが大事だと思う。できる感染予防は全てする。でもピリピリしていたら、何事もうまくいかない。今こそ、組合の結束力! 相手を思いやる声掛けで! やるべきことをみんなで行おう。いつかはあの時は大変だったと笑える日が絶対くる。

(あんちゃん)



トビタテの未来

